

1 連携中枢都市圏ビジョンについて

- ・連携中枢都市圏ビジョンとは、国の「連携中枢都市圏推進要綱」において、連携中枢都市圏を対象として「構成市町村名」「圏域の将来推計人口等の中長期的な将来像」「**具体的取組**」「**具体的取組の期間**」「**成果指標**」について記載するものであって、その策定等に当たって、民間や地域の関係者を構成員として開催する協議・懇談の場（大分都市広域圏においては「**大分都市広域圏ビジョン会議**」）における検討を経て、各連携市町村と当該市町村に関連する部分について協議を行ったものと定義している。
- ・大分都市広域圏においては、平成28年3月に「**大分都市広域圏ビジョン**」を策定し、令和3年3月に「**第2期大分都市広域圏ビジョン**」を策定した。

2 今後の策定スケジュールについて

日程	内容
R7.7.7	令和7年度第1回大分都市広域圏ビジョン会議
R7.7.22	令和7年度第1回大分都市広域圏推進会議 (第3期大分都市広域圏ビジョン(素案)を報告)
～	(幹事会及び専門部会において原案の策定作業)
R7.10下旬	令和7年度第2回大分都市広域圏ビジョン会議
R7.11.14	令和7年度第2回大分都市広域圏推進会議 (第3期大分都市広域圏ビジョン(原案)を報告)
R8.1	各市町にてパブリックコメントの実施
R8.3	各市町の議会にて、第3期ビジョンの報告 第3期ビジョン策定(決定)
R8.3～ R13.3	第3期大分都市広域圏ビジョンの取組期間

3 第3期大分都市広域圏ビジョン(案)の要旨について

1. 第3章 圏域の将来像

○「1. 大分都市広域圏の課題」、「3.(1) 圏域の目指す方向性」

- ①圏域全体の経済成長のけん引
 - ・「工業分野」と「商業・サービス業分野」を「商工業・サービス業分野」に統合
- ②高次の都市機能の集積・強化
 - ・交通課題について、広域交通ネットワークの充実等については「②高次の都市機能の集積・強化」、地域公共交通の確保・維持等については「③圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に整理
- ③圏域全体の生活関連機能サービスの向上
 - ・環境分野の課題及び方向性を追加
 - ・圏域マネジメント分野に、事務の共同実施、職員の確保・育成、公共施設の集約化の検討を追加

○「3. 圏域の目指す方向性」

- ・「(2) 圏域全体のDXの推進」を追加
「事業者のデジタル技術の活用促進」「住民サービスの向上」「行政事務の効率化」「デジタル人材の確保・育成」の4本の方向性を示し、圏域全体のDXを推進する。
- ・「(3) 圏域を超えた連携」を追加
おおいた消防指令センターの共同運用や大分市下水汚泥燃料化施設の共同利用等、県や圏域外の市町村の連携についてもこれまで進めてきたが、今後も圏域を超えた連携を推進していくことを明記する。
- ・「大分都市広域圏経済戦略」を削除、「(4) 将来像の実現に向けた重点施策」の追加
「圏域全体の経済成長のけん引」において、自治体や関係機関と連携し、戦略的に取り組むこととする。また、将来像の実現に向けた重点施策を新たに位置付ける。

2. 第4章 将来像の実現に向けた取組

○KPIの設定について

- 圏域の現状や施策等を勘案するとともに、他の自治体や圏域が定める計画等を参考にしながら、以下の項目に対するアウトカム(成果)を指標とするKPIを設定する。
- ・大分野(圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上)
- ・中分野(基本連携項目)

○具体的な取組

- ②高次の都市機能の集積・強化
 - ・「7 広域的公共交通網の構築」を「広域交通ネットワークの活用・整備促進」に変更
- ③圏域全体の生活関連機能サービスの向上
 - ・「21 特定外来生物の広域防除」を「広域的な生物多様性の保全」に変更
 - ・「脱炭素社会の実現」を追加
 - ・「25 広域幹線道路網の整備促進」を削除
 - ・「上下水道事業の連携強化の推進」を追加(「水源流域の水環境の改善」を内容に含む)